

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

MRI 定量評価を用いた腸腰筋膿瘍の重症度評価と治療介入予測に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に昭和医科大学病院で腸腰筋膿瘍と診断され診断時または治療開始前に MRI 検査が施行されている患者さん

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、腸腰筋膿瘍患者において、MRI 画像を用いた腸腰筋および膿瘍関連所見の定量評価を行い、疾患重症度および治療介入の必要性との関連を明らかにすることである。具体的には、MRI 上の信号強度、膿瘍径、腸腰筋断面積、左右差、炎症範囲などの画像指標と、血液検査所見（WBC、CRP、アルブミン、クレアチニン）、入院期間、抗菌薬治療期間、ドレナージや手術などの治療介入、臨床転帰との関連を検討する。本研究により、MRI 定量評価が腸腰筋膿瘍の重症度評価や治療方針決定に有用な指標となる可能性がある。特に、保存的加療で経過観察可能な症例と、早期にドレナージや外科的介入を検討すべき症例を画像所見から予測できれば、治療方針の最適化、重症化の予防、入院期間の短縮に寄与する可能性がある。

また、本研究は既存の診療画像および診療情報を用いた後方視的研究であり、新たな侵襲を伴わずに実施可能である。診療上の必要性から撮影され既に電子診療録上にあるものを用いるため、新たに検査を追加することはありません。腸腰筋膿瘍に対する客観的な MRI 画像評価法を確立することで、今後の多施設研究や前向き研究の基盤となることが期待される。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

MRI 上の信号強度、膿瘍径、腸腰筋断面積、左右差、炎症範囲などの画像指標と、血液検査所見（WBC、

CRP、アルブミン、クレアチニン)、入院期間、抗菌薬治療期間、ドレナージや手術などの治療介入、臨床転帰など

5. 外部への試料・情報の提供

昭和医科大学から外部へ提供することはありません。外部機関からの情報は、完全に符号化され、暗号化された状態で提供されます。

6. 研究組織

研究責任者	研究機関名	昭和医科大学病院	氏名	土谷 弘樹
研究分担者	研究機関名	昭和医科大学病院	氏名	岡野 市郎

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院整形外科

氏名：土谷 弘樹 岡野市郎

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 6号館5階517号室整形外科医局

電話番号：03-3784-8543